



2021年3月期 第2四半期決算短信〔 I F R S 〕 (連結)

2020年11月5日

上場会社名 三菱商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 8058 URL <http://www.mitsubishicorp.com>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 垣内 威彦

問合せ先責任者 (役職名) 主計部 予・決算管理チームリーダー (氏名) 西原 直 (TEL) 03-3210-2121

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日 2020年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	収益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	5,728,347	△25.8	143,477	△59.7	102,408	△62.1	86,687	△64.2	152,480	480.7
2020年3月期第2四半期	7,723,892	△2.8	356,440	△20.9	269,939	△20.4	242,359	△21.6	26,257	△94.6

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円	銭	円	銭
2021年3月期第2四半期	58	68	58	55
2020年3月期第2四半期	154	97	154	64

(注)「基本的1株当たり四半期利益」及び「希薄化後1株当たり四半期利益」は、「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を基に算出しています。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	17,798,836	6,231,126	5,247,676	29.5
2020年3月期	18,049,661	6,216,894	5,227,359	29.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2020年3月期	—	64.00	—	68.00	132.00
2021年3月期	—	67.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	67.00	134.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益	
	百万円	%	円	銭
通期	200,000	△62.6	135	47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は、添付資料12頁「3. 会計方針の変更・会計上の見積りの変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	1,485,723,351株	2020年3月期	1,590,076,851株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	9,827,284株	2020年3月期	105,580,338株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	1,477,188,740株	2020年3月期2Q	1,563,917,783株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料4頁「1. (4)業績予想の修正について」をご覧ください。

添付資料

目次

四半期連結財務諸表及び主な注記	2
1. 全般	2
(1) 業績概況	2
(2) 資産及び負債・資本の状況	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 業績予想の修正について	4
2. 要約四半期連結財務諸表	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
3. 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	12
4. 継続企業の前提に関する注記	12

※ 当社は、機関投資家・アナリスト向けの第2四半期決算説明会をテレフォンカンファレンス形式で開催する予定です。

なお、当説明会の内容（日本語）につきましては、当社ホームページ（IR（投資家情報））
<https://www.mitsubishicorp.com/jp/ja/ir/index.html> よりライブ配信いたします。

・2020年11月5日（木） 17：00～18：00・・・第2四半期決算説明会

四半期連結財務諸表及び主な注記**1. 全般**

(以下「四半期純利益」は「当社の所有者に帰属する四半期純利益」を指しています。)

(1) 業績概況

収益は、石油事業や鉄鋼製品事業における取引減少などにより、前第2四半期連結累計期間を1兆9,956億円(26%)下回る5兆7,283億円となりました。

売上総利益は、豪州原料炭事業における市況下落やCVS事業における加盟店収入の減少などにより、前第2四半期連結累計期間を1,419億円(16%)下回る7,612億円となりました。

販売費及び一般管理費は、新型コロナウイルスの影響による営業活動の縮小などにより、前第2四半期連結累計期間から231億円(3%)減少し、6,879億円となりました。

有価証券損益は、ファンド評価損益の悪化、及び前年同期の千代田化工建設の子会社化に伴う公正価値評価益の反動などにより、前第2四半期連結累計期間を101億円(38%)下回る168億円(利益)となりました。

固定資産減損損失は、前年同期に計上した船舶設備に係る減損損失の反動などにより、前第2四半期連結累計期間から40億円(56%)改善し31億円となりました。

その他の損益は、為替関連損益の変動などにより、前第2四半期連結累計期間から84億円(59%)改善し、58億円(損失)となりました。

金融収益は、資源関連投資先からの受取配当金の減少や米ドル金利の低下による受取利息の減少などにより、前第2四半期連結累計期間を406億円(48%)下回る445億円となりました。

持分法による投資損益は、三菱自動車工業における固定資産の減損や販売台数の減少などにより、前第2四半期連結累計期間を671億円(63%)下回る398億円(利益)となりました。

この結果、税引前利益は、前第2四半期連結累計期間を2,129億円(60%)下回る1,435億円となりました。

以上により、四半期純利益は、前第2四半期連結累計期間を1,557億円(64%)下回る867億円となりました。

(2) 資産及び負債・資本の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より2,509億円(1%)減少し、17兆7,988億円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末より4,026億円(6%)減少し、6兆5,348億円となりました。これは、鉄鋼製品事業や石油事業における取引数量減少などに伴い営業債権及びその他の債権が減少したことなどによるものです。

非流動資産は、前連結会計年度末より1,517億円(1%)増加し、11兆2,640億円となりました。これは、豪州原料炭事業において豪ドル高に伴う為替換算の影響により有形固定資産が増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より2,651億円(2%)減少し、11兆5,677億円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末より4,414億円(8%)減少し、4兆9,049億円となりました。これは、鉄鋼製品事業や石油事業における取引数量減少などに伴い営業債務及びその他の債務が減少したことなどによるものです。

非流動負債は、前連結会計年度末より1,763億円(3%)増加し、6兆6,628億円となりました。これは、主に新規資金調達に伴い長期借入金が増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の資本合計は、前連結会計年度末より142億円(0%)増加し、6兆2,311億円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の当社の所有者に帰属する持分は、前連結会計年度末より203億円(0%)増加し、5兆2,477億円となりました。これは、主に配当の支払いにより利益剰余金が減少した一方で、連結純利益の積み上がりによる利益剰余金の増加や豪ドル高の影響による在外営業活動体の換算差額が増加したことなどによるものです。

また、非支配持分は、前連結会計年度末より60億円(1%)減少し、9,835億円となりました。

有利子負債総額から現金及び現金同等物や定期預金を控除したネット有利子負債(リース負債除く)は、前連結会計年度末より1,556億円(4%)減少し、4兆1,807億円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ2,150億円増加し、1兆5,378億円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動により資金は6,176億円増加しました。これは、利息や法人所得税の支払いなどがあったものの、営業収入や配当収入、新型コロナウイルスの影響などによる取引減少に伴う運転資金の負担減などにより資金が増加したものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動により資金は2,139億円減少しました。これは、関連会社への投資や上場有価証券の売却などによる収入があったものの、設備投資、関連会社への投資や融資などによる支出により、資金が減少したものです。

投資キャッシュ・フローの主な内容及びセグメントは以下のとおりです。

新規・更新投資

- ・HERE Technologies社宛て投資（その他）
- ・欧州総合エネルギー事業（電力ソリューション）
- ・豪州原料炭事業（金属資源）
- ・北米不動産事業（複合都市開発）
- ・LNG関連事業（天然ガス）
- ・銅事業（金属資源）

売却及び回収

- ・上場有価証券（食品産業・コンシューマー産業）

以上の結果、営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローの合計であるフリーキャッシュ・フローは4,037億円の資金増となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動により資金は1,919億円減少しました。これは、資金調達があったものの、リース負債の返済や配当金の支払い、自己株式の取得などにより資金が減少したものです。

配当は持続的な利益成長に合わせて増配していく「累進配当」を行う方針としています。自己株式の取得は、「中期経営戦略2018」期間中のキャッシュ・フローや適切な資本水準などを考慮の上、資本効率の向上を図るために実施したものです。負債による資金調達は、流動性と財務健全性の観点で適切な水準を維持する方針としています。

また、上記の財務会計上の営業キャッシュ・フローとは別に、将来の新規投資や株主還元などの原資を適切に表すべく、運転資金の増減影響を控除した営業キャッシュ・フローに、事業活動における必要資金であるリース負債支払額を反映した「営業収益キャッシュ・フロー（リース負債支払後）」と、さらに投資活動によるキャッシュ・フローを加えた「調整後フリーキャッシュ・フロー」を定義しています。

営業収益キャッシュ・フロー（リース負債支払後）は、2,291億円の資金増となりました。

この結果、調整後フリーキャッシュ・フローは、152億円の資金増となりました。

(4) 業績予想の修正について

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、2020年8月13日公表の連結業績予想から変更はありません。

(注意事項)

本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (2020年9月30日)
<u>資産の部</u>		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,322,812	1,537,799
定期預金	101,016	95,678
短期運用資産	49,331	43,748
営業債権及びその他の債権	3,168,074	2,819,141
その他の金融資産	308,468	150,798
たな卸資産	1,294,479	1,270,938
生物資産	58,871	62,913
前渡金	45,776	59,880
売却目的保有資産	46,595	8,321
その他の流動資産	541,968	485,589
流動資産合計	6,937,390	6,534,805
非流動資産		
持分法で会計処理される投資	3,219,594	3,179,768
その他の投資	1,708,071	1,719,514
営業債権及びその他の債権	655,267	698,446
その他の金融資産	134,220	106,331
有形固定資産	2,248,160	2,388,950
投資不動産	96,709	95,135
無形資産及びのれん	1,422,812	1,445,405
使用権資産	1,429,288	1,440,787
繰延税金資産	36,146	36,849
その他の非流動資産	162,004	152,846
非流動資産合計	11,112,271	11,264,031
資産合計	18,049,661	17,798,836

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (2020年9月30日)
<u>負債及び資本の部</u>		
流動負債		
社債及び借入金	1,472,769	1,348,184
営業債務及びその他の債務	2,547,012	2,371,938
リース負債	205,780	236,325
その他の金融負債	213,181	175,097
前受金	178,689	139,423
未払法人税等	40,000	32,220
引当金	87,564	83,816
売却目的保有資産に直接関連する負債	1,167	188
その他の流動負債	600,109	517,738
流動負債合計	5,346,271	4,904,929
非流動負債		
社債及び借入金	4,287,354	4,466,030
営業債務及びその他の債務	56,692	57,501
リース負債	1,297,530	1,269,949
その他の金融負債	40,286	51,943
退職給付に係る負債	123,690	124,355
引当金	162,622	170,648
繰延税金負債	485,551	486,912
その他の非流動負債	32,771	35,443
非流動負債合計	6,486,496	6,662,781
負債合計	11,832,767	11,567,710
資本		
資本金	204,447	204,447
資本剰余金	228,153	228,760
自己株式	△294,580	△27,295
その他の資本の構成要素		
FVTOCIに指定したその他の投資	359,974	372,590
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△27,422	△66,231
在外営業活動体の換算差額	82,634	151,120
その他の資本の構成要素計	415,186	457,479
利益剰余金	4,674,153	4,384,285
当社の所有者に帰属する持分	5,227,359	5,247,676
非支配持分	989,535	983,450
資本合計	6,216,894	6,231,126
負債及び資本合計	18,049,661	17,798,836

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
収益	7,723,892	5,728,347
原価	△6,820,814	△4,967,101
売上総利益	903,078	761,246
販売費及び一般管理費	△710,983	△687,943
有価証券損益	26,942	16,833
固定資産除・売却損益	2,287	2,904
固定資産減損損失	△7,074	△3,060
その他の損益－純額	△14,170	△5,778
金融収益	85,094	44,455
金融費用	△35,585	△24,971
持分法による投資損益	106,851	39,791
税引前利益	356,440	143,477
法人所得税	△86,501	△41,069
四半期純利益	269,939	102,408
四半期純利益の帰属		
当社の所有者	242,359	86,687
非支配持分	27,580	15,721
	269,939	102,408
1株当たり四半期純利益(当社の所有者に帰属)		
基本的	154.97円	58.68円
希薄化後	154.64円	58.55円

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	269,939	102,408
その他の包括利益 (税効果後)		
純損益に振り替えられることのない項目		
FVTOCIに指定したその他の投資による損益	△25,533	31,670
確定給付制度の再測定	514	△210
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	1,780	△7,080
合計	△23,239	24,380
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△9,106	△14,959
在外営業活動体の換算差額	△154,926	79,464
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△56,411	△38,813
合計	△220,443	25,692
その他の包括利益合計	△243,682	50,072
四半期包括利益合計	26,257	152,480
四半期包括利益の帰属		
当社の所有者	6,794	139,656
非支配持分	19,463	12,824
	26,257	152,480

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
資本金		
期首残高	204,447	204,447
期末残高	204,447	204,447
資本剰余金		
期首残高	228,340	228,153
株式報酬に伴う報酬費用	1,426	1,131
株式報酬に伴う自己株式の処分	△1,049	△721
非支配株主との資本取引及びその他	△1,359	197
期末残高	227,358	228,760
自己株式		
期首残高	△8,279	△294,580
株式報酬に伴う自己株式の処分	1,706	1,100
取得及び処分—純額	△171,755	△19,777
消却	—	285,962
期末残高	△178,328	△27,295
その他の資本の構成要素		
期首残高	914,807	415,186
当社の所有者に帰属するその他の包括利益	△235,565	52,969
利益剰余金への振替額	△16,503	△10,676
期末残高	662,739	457,479
利益剰余金		
期首残高	4,356,931	4,674,153
会計方針の変更に伴う累積的影響額	△9,079	—
会計方針の変更に反映した期首残高	4,347,852	4,674,153
当社の所有者に帰属する四半期純利益	242,359	86,687
配当金	△99,982	△100,957
株式報酬に伴う自己株式の処分	△647	△312
自己株式の消却	—	△285,962
その他の資本の構成要素からの振替額	16,503	10,676
期末残高	4,506,085	4,384,285
当社の所有者に帰属する持分	5,422,301	5,247,676
非支配持分		
期首残高	940,674	989,535
会計方針の変更に伴う累積的影響額	△2,677	—
会計方針の変更に反映した期首残高	937,997	989,535
非支配株主への配当支払額	△32,094	△26,656
非支配株主との資本取引及びその他	11,123	7,747
非支配持分に帰属する四半期純利益	27,580	15,721
非支配持分に帰属するその他の包括利益	△8,117	△2,897
期末残高	936,489	983,450
資本合計	6,358,790	6,231,126
四半期包括利益の帰属		
当社の所有者	6,794	139,656
非支配持分	19,463	12,824
四半期包括利益合計	26,257	152,480

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益	269,939	102,408
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
減価償却費等	218,672	261,855
有価証券損益	△26,942	△16,833
固定資産損益	4,787	156
金融収益・費用合計	△49,509	△19,484
持分法による投資損益	△106,851	△39,791
法人所得税	86,501	41,069
売上債権の増減	339,843	404,734
たな卸資産の増減	△115,975	37,881
仕入債務の増減	△244,601	△169,122
その他－純額	△96,743	△64,691
配当金の受取額	182,067	108,403
利息の受取額	60,703	44,261
利息の支払額	△47,579	△36,892
法人所得税の支払額	△114,177	△36,311
営業活動によるキャッシュ・フロー	360,135	617,643

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産等の取得による支出	△161,442	△194,022
有形固定資産等の売却による収入	22,149	20,747
持分法で会計処理される投資の取得による支出	△79,697	△143,504
持分法で会計処理される投資の売却による収入	61,935	54,280
事業の取得による支出(取得時の現金受入額控除後の純額)	130,838	5,372
事業の売却による収入(売却時の現金保有額控除後の純額)	50,813	6,482
その他の投資の取得による支出	△18,247	△11,614
その他の投資の売却等による収入	74,600	57,806
貸付の実行による支出	△104,757	△45,513
貸付金の回収による収入	39,110	33,364
定期預金の増減－純額	9,817	2,749
投資活動によるキャッシュ・フロー	25,119	△213,853
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金等の増減－純額	172,521	64,971
長期借入債務等による調達	174,423	601,760
長期借入債務等の返済	△235,720	△572,887
リース負債の返済	△130,561	△140,866
当社による配当金の支払	△99,982	△100,957
子会社による非支配株主への配当金の支払	△32,094	△26,656
非支配株主からの子会社持分追加取得等による支払	△13,540	△2,298
非支配株主への子会社持分一部売却等による受取	6,649	4,739
自己株式の増減－純額	△171,472	△19,710
財務活動によるキャッシュ・フロー	△329,776	△191,904
現金及び現金同等物に係る為替相場変動の影響額	△14,218	3,101
現金及び現金同等物の純増減額	41,260	214,987
現金及び現金同等物の期首残高	1,160,582	1,322,812
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,201,842	1,537,799

3. 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

当要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

4. 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2020年度第2四半期決算

2020年11月5日

三菱商事株式会社

(将来に関する記述等についてのご注意)

- ・ 本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。
- ・ また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報、及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいようお願い致します。
- ・ 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

(本資料における留意点について)

- ・ 本資料における「連結純利益」は、非支配持分を除く、当社の所有者に帰属する当期純利益の金額を表示しています。

2020年度第2四半期決算

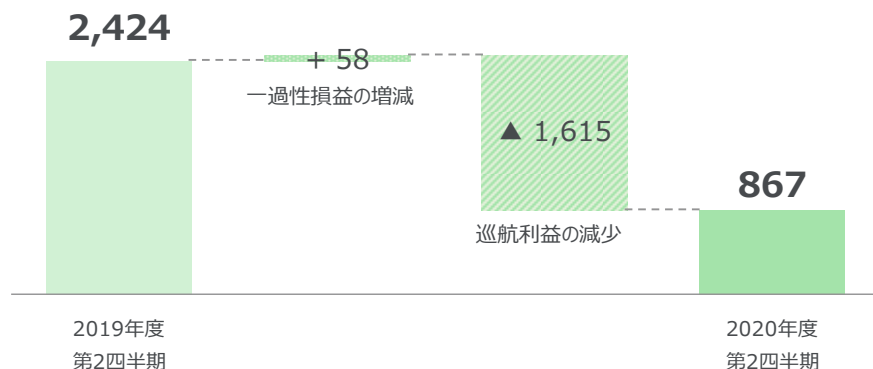
	2019年度 第2四半期実績	2020年度 第2四半期実績	増減	2020年度 業績見通し	進捗率
連結純利益	2,424億円	867億円	▲1,557億円	2,000億円	43%
事業系	1,482億円	530億円	▲952億円	1,304億円	41%
市況系※	902億円	265億円	▲637億円	516億円	51%
一株当たり配当				134円	

※「市況系」は天然ガスセグメントの内、北米シェールガス及びE&P、金属資源セグメントの内、トレーディング・インキュベーション関連以外、産業インフラセグメントの内、船舶（一般商船）を含めています。

<前年同期比の増減>

(億円)

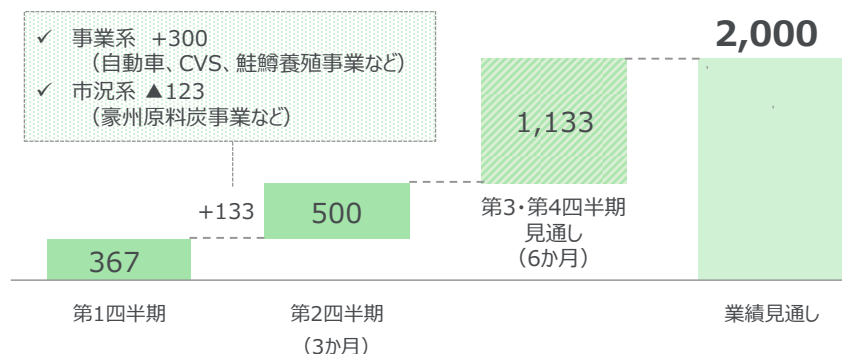
- ◎ 連結純利益は前年同期比▲1,557億円の減益となった。
 - ✓ 事業系は、前年同期に計上したシンガポールの原油・石油製品トレーディング会社における原油デリバティブ取引関連損失の反動があったものの、LNG関連事業や自動車関連事業などを中心に巡航利益が減少したことや、三菱自動車工業における減損損失取り込みなどにより、減益となった。
 - ✓ 市況系は、豪州原料炭事業における巡航利益の減少などにより、減益となった。



<業績見通しに対する進捗>

(億円)

- ◎ 第1四半期の連結純利益367億円に対し、第2四半期（3か月）は500億円（+133億円）と底打ち感。
- ◎ 下期において、資産入替等による売却益を見込んでいることなどにより、業績見通しに対する進捗率は43%となった。
- ◎ 業績見通し2,000億円及び配当見通し134円は変更なし。

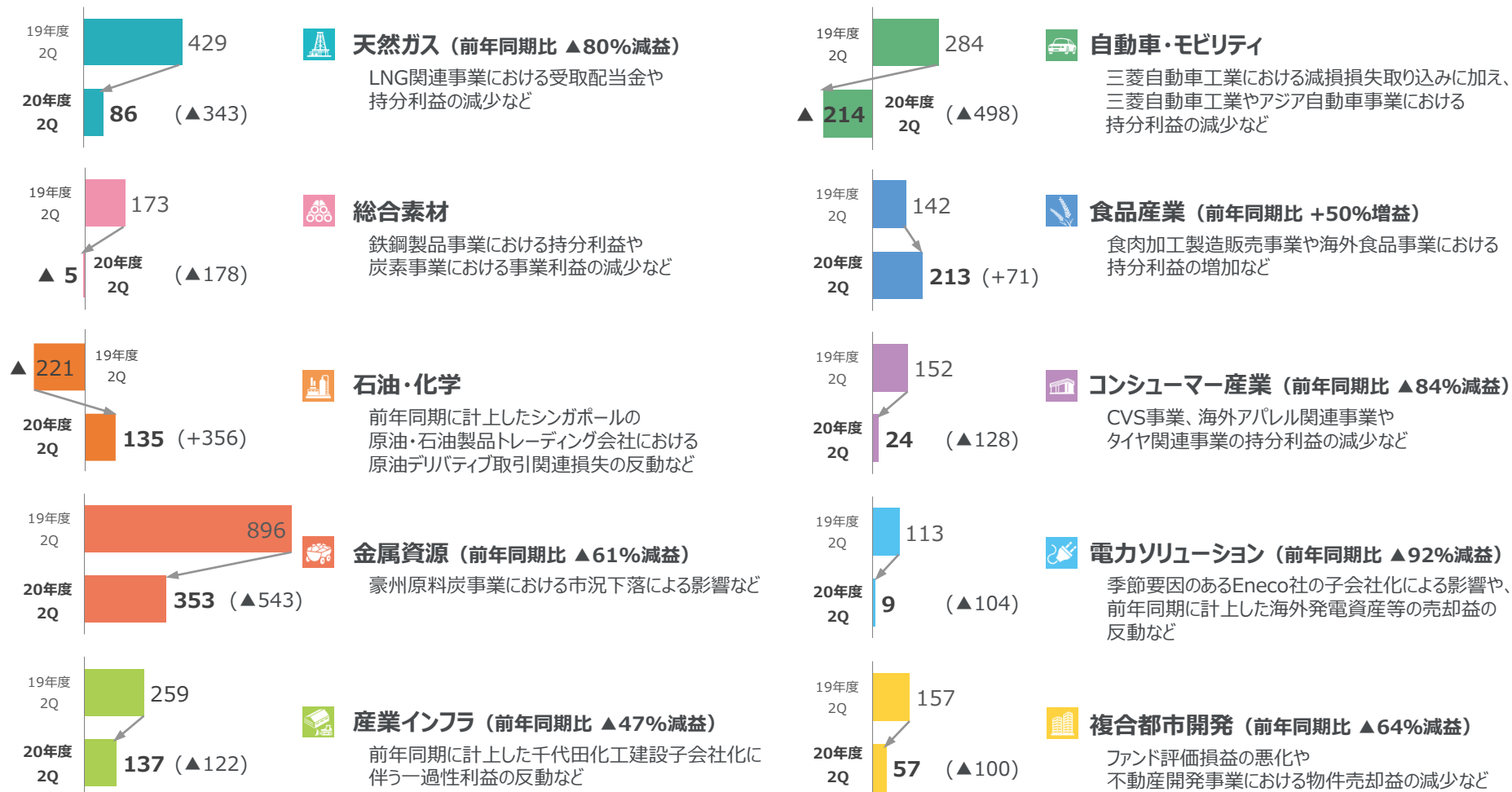


セグメント別の状況

連結純利益： 2019年度第2四半期 2,424

(億円)

2020年度第2四半期 867 (▲1,557 : 前年同期比)



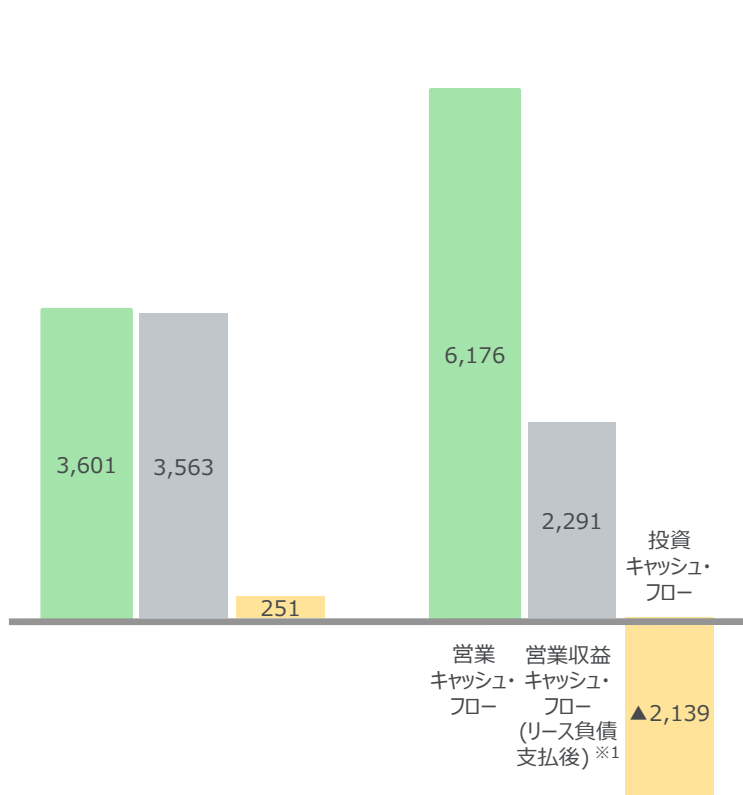
キャッシュ・フローの状況

2019年度
第2四半期

2020年度
第2四半期

【キャッシュ・フローの主な内訳】

(億円)



<調整後フリーキャッシュ・フロー※2>

+3,814

+152

参考	2019年度 (通期)	投資CF			調整後FCF
		営業収益CF (リース負債支払後)	新規・更新投資	売却及び回収	
		6,721	▲10,514	5,507	▲5,007
2020年度 第2四半期		2,291	▲3,895	1,756	▲2,139

【2020年度第2四半期の投資キャッシュ・フローの主な内容】

新規・更新投資	売却及び回収
・HERE Technologies社宛て投資 (その他) ・欧州総合エネルギー事業 (電力ソリューション) ・豪州原料炭事業 (金属資源) ・北米不動産事業 (複合都市開発) ・LNG関連事業 (天然ガス) ・銅事業 (金属資源)	・上場有価証券 (食品産業・コンシューマー産業)

※1 営業収益キャッシュ・フロー : 運転資金の増減影響を控除した営業キャッシュ・フロー (リース負債支払後)
(連結純利益 (非支配持分を含む) - 減価償却費 - 投資活動関連損益 - 未配当の持分法損益 - 貸倒費用等 - 繰延税金) にリース負債の支払額を反映したもの

※2 調整後フリーキャッシュ・フロー : 営業収益キャッシュ・フロー (リース負債支払後) と投資キャッシュ・フローの合計

【参考】市況の状況

【為替・商品・金利市況の状況】

	2020年度 第2四半期実績	2020年度 業績見通し※	増減	2020年度業績見通しに対する損益インパクト [油価・銅地金については、生産数量等により大きく変動する 可能性があるため、現時点での試算に基づく参考値を記載]
為替 (円/US\$)	106.93	105.90	+1.03	1円の円安/円高につき年間15億円の増益/減益インパクト。
油価 (ドバイ) (US\$/BBL)	57	47	+10	US\$1/BBLの上昇/下落につき年間25億円の増益/減益インパクト。 連結会社との決算期の違いやLNG販売価格への油価反映の タイムラグ等による当社の実績への影響に鑑み、6か月前の油価 (通期：10～9月平均)を記載している。 但し、油価の変動以外にも、配当性向、為替要因、生産・販売数量 等の複数の影響も受けるため、油価のみで単純に決定されるものでは ない。
銅地金 (US\$/MT) [US¢/lb]	5,956 [270]	6,276 [285]	▲320 [▲15]	US\$100/MTの上昇/下落につき年間13億円の増益/減益インパクト (US¢ 10/lbの上昇/下落につき年間28億円の増益/減益インパクト)。 但し、銅の価格変動以外にも、粗鉱品位、生産・操業状況、再投資 計画(設備投資)等の要素からの影響も受けるため、銅の価格のみ で単純に決定されるものではない。
円金利 (%) TIBOR 3M	0.07	0.09	▲0.02	取引利益や投資利益により金利上昇の影響は相殺される部分が相 当あるが、金利上昇が急である場合には一時的に影響を受ける。
US\$金利 (%) LIBOR 3M	0.42	0.37	+0.05	

※ 業績見通しは、通期平均価格を記載している。価格の推移を踏まえて、8/13に公表したものから修正している（油価は6か月前の油価を記載している為、確定値）。